

好立地条件にある三甲テキスタイル

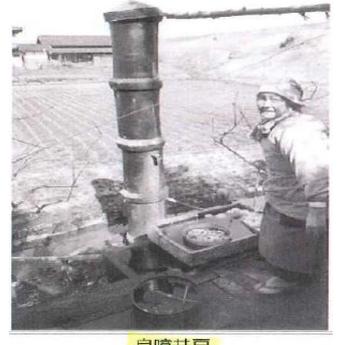
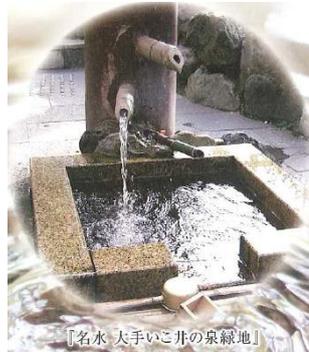
国内屈指の自噴帯

『水の都 大垣』

大垣市は全国でも有数の自噴帯に位置しており、豊富な地下水の恵みにより水の都と呼ばれてきました。

いまでも良質な地下水が自噴している井戸は数多く見られます。そして揖斐川の豊富な伏流水や自噴水は、生活環境に潤いを与え、貴重な淡水生物の宝庫と美しい田園風景を形成しています。

そのような水の都大垣に三甲テキスタイル(株)大垣工場は立地しています。



奇跡の立地条件

揖斐川は、岐阜県揖斐川町の冠山（標高 1,257m）に源を発し、深い山間溪谷を流下し、揖斐川町で濃尾平野に出ます。濃尾平野の西部地方で、養老山脈に沿って、揖斐川と共に三川は並行して南下し、伊勢湾へと下っていきます。

三川の川床は木曾川、長良川、揖斐川と西に向かって低くなっています。

この辺の海底は東に浅く、西ほどに深くなっているのので、西濃平野の一角が最後まで海として残り、平野としては最も新しい部分に属することになりました。これが、大垣地方が自噴井水に恵まれる理由です。

木曾川、長良川の伏流水は南下することなく西に向かって流れ、大垣周辺で揖斐川の伏流水と合流し、その水圧を高めて、伏流水（地下水）は自噴することになります。

このような『天恵の地』に三甲テキスタイル(株)大垣工場は設立されています。

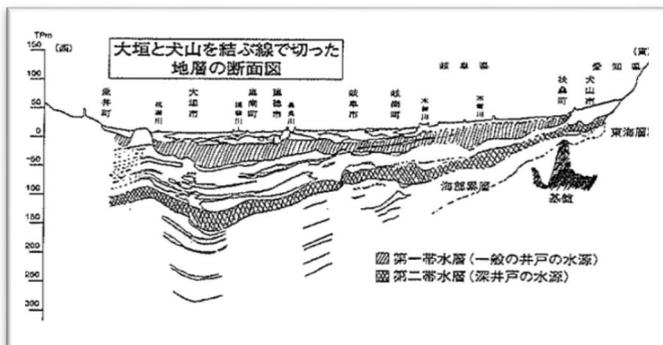
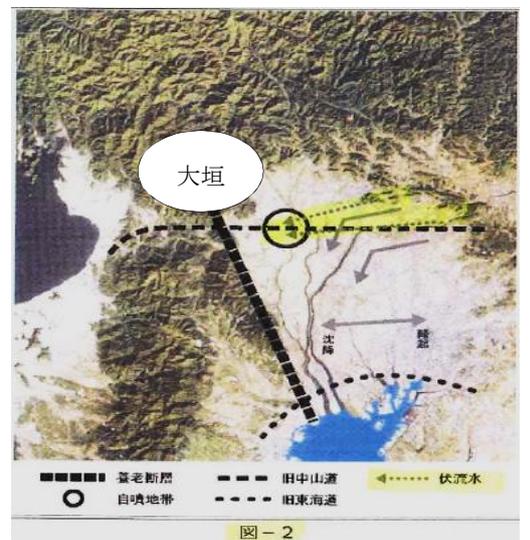
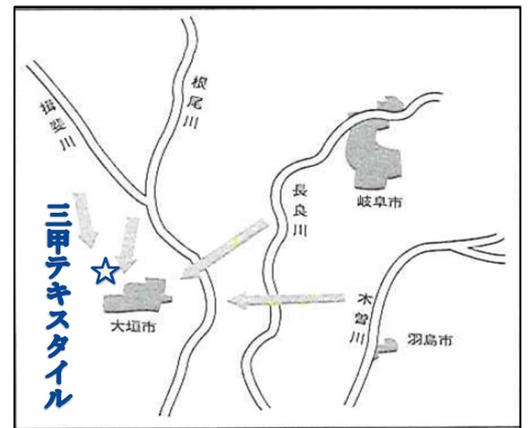


図-2